

第65回 大阪母性衛生学会学術集会

『プレ、インター、ポストコンセプション、何を伝える？ 何ができる？』



合併症があってもなくても、妊娠前、妊娠間、妊娠後は女性のライフサイクルにおいて医療者が関わる機会を与えてくれるタイミングと言えます。

私たちはこのタイミングで女性の健康にどんなふうに関与できるのでしょうか。



目の前にある妊娠、次の妊娠、妊娠によって変わる体、そしてそれを抱えたそこからの人生にどう関わればいいのか、この機会に単に妊娠へのアドバイスに留まらない、産科医療に関わる私たちにこそできることはなんなのか。

皆さんで考えてみたいと思います。



2026年

12/5(土)

※9時より受付開始

時間 9時30分～17時(予定)

会場 大阪公立大学医学部 学舎4階大講義室

会長：橋 大介 (大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 教授)

学術集会長：吉松 淳 (国立循環器病研究センター 循環器病周産期センター長兼産婦人科部長)

研修会

講演 1

「プレコンセプションケア、心疾患、脳血管疾患での実際」

吉松 淳 先生 (国立循環器病研究センター 循環器病周産期センター長兼産婦人科部長)

講演 2

「妊娠高血圧症候群既往女性のインターコンセプションケア」

味村 和哉 先生 (川崎医科大学 産婦人科教授)